

# 桜友会報

第11号  
2015.8.10

昭和女子大学附属昭和小学校同窓会  
「桜友会」

〒154-8533

東京都世田谷区太子堂1丁目7番57号

## 「人生は80日目からがおもしろい」

9月27日に  
総会・懇親会  
登山家・田部井淳子さん特別講演

2015年度の桜友会総会・懇親会は  
9月27日(日曜日)に開催します。

今回は女性初のエベレスト登頂で知ら  
れる登山家・田部井淳子さん(昭和女子  
大学卒業)に特別講演していただきます。  
会員のご家族の参加も大歓迎です。



田部井淳子さん

### 【田部井さんのプロフィール】

1939年福島県三春町生まれ。  
1969年「女子だけで海外遠征  
を」を合言葉に女子登攀クラブを設  
立。1975年世界最高峰エベレスト  
8848mに女性として世界で初めて  
登頂。1992年7大陸最高峰登頂者  
となる(女性世界初)。年数回海外登

日時 2015年9月27日(日)

総会 11時

特別講演 12時

懇親会 13時20分

会場 昭和女子大学学園本部館3階

会費 1500円(お弁当・その他経費)

当日受付でお支払ください。参加

されるご家族も同額です。

参加申し込み

同封の返信用葉書で、9月5日ま  
でに出欠をお知らせください。ご  
家族同伴の場合は、葉書に参加を  
明記してください。

山に出かけ、現在までに70か国以上の  
最峰に登頂。20〜40代女性のための山  
の会MJリンク呼びかけ人。メディア  
への出演や執筆、健康山登り教室の講  
師、講演などを通じて山登りの楽しさ  
を多くの人に伝えている。最近の出版  
物に『私には山がある』(PHP研究  
所)、『山の単語帳』(世界文化社)な  
どがある。

### ■総会議題

- ① 2014年度活動報告
- ② 2014年度決算及び監査報告
- ③ 2015年度活動計画
- ④ 特別会計「周年行事等準備金」
- ⑤ 2015年度予算
- ⑥ 新役員選出

### 2014年度活動報告

(2014年4月〜2015年3月)

1. 総会・懇親会の開催  
2014年9月21日に昭和女子大学本部館  
3階大会議室で開催した。懇親会では昭和小  
学校の歴史を知る機会とするため、恩師の増  
田敬先生、大坪良穂先生にお話をいただいた。  
幹事会の開催
2. 2014年5月11日に昭和女子大学本部館  
3階中会議室で開催した。33人の参加を得て  
桜友会活動について活発な意見交換を行っ  
た。
3. 独自ホームページの構築  
これまで昭和小学校ホームページの一部を  
借りてお知らせ等を掲載していたが、  
内容的な限界もあるため独自ドメインを取  
得し、新たなホームページ <http://showa-hyukai.jp/> を2015年2月に開設。全会  
員に開設を知らせる葉書を送付した。
4. 会報10号の発行  
2014年8月10日付で桜友会報10号(4  
ページ)を発行した。
5. 2014年11月の昭和祭では例年通りバザー  
を実施した。同窓会室には約100人の来訪があっ  
た。5月の昭和っ子運動会の際には桜友会  
ブースを設置して、同窓生への飲料などの接  
待を行った。
6. 文化・レクリエーション活動  
2014年12月に東明学林でのミカン狩り  
を実施した。

### 2015年度活動計画

(2015年4月〜2016年3月)

1. 総会・懇親会の開催  
2015年9月27日に昭和女子大学本部館3  
階大会議室において開催する。総会では、正副  
会長、委員、監事の選任について承認をはかる。  
学年幹事会の開催
2. 2015年5月10日に昭和女子大学本部館  
3階大会議室において開催済み。22名の参加が  
あり、桜友会活動への意見・提言があった。  
会報11号の発行  
8月上旬に発行済み
3. 文化・レクリエーション活動  
ミカン狩り、文化散歩等の活動の継続を図  
る
4. 昭和祭、昭和っ子運動会での会員むけ活動  
これまで行ってきた昭和祭でのバザーと同  
窓会室、昭和っ子運動会での桜友会ブースを  
継続する。
5. 昭和祭、昭和っ子運動会での会員むけ活動

### ホームページ新設しました

ホームページが2月に新設され、同窓会か  
らの情報をパソコン、スマホから、いつでも見る  
ことができるようになり、会員相互の交流、  
同窓会との送受信が便利になりました。

◎アドレス <http://showa-hyukai.jp>

◎検索 「昭和小学校 桜友会」

◎QRコード



ホームページには、初等部行事、同窓会イベ  
ント等のお知らせを掲載します。

また会員が計画する、クラス会、同期会の  
お知らせ等を掲載します。掲載ご希望の方  
は、次の連絡先にお申し込みください。

住所、電話、メールアドレス、氏名等の変更、  
その他も、次の連絡先をお願いします。

◎連絡先

メールアドレス: [ohyu@swu.ac.jp](mailto:ohyu@swu.ac.jp)

FAX番号: 03-3467-0900

会員のためのホームページです。ぜひ活用  
ください。

## 食へて話した2泊3日

### 6回生・大分の旅

私達第6回卒業生10名は「湯布院de同窓会」と銘打ち、2泊3日の同窓会を大分県で開催しました。幹事役は別府市在住30年以上となった私が務めました。

昔、先生達を困らせた腕白坊主やお転婆娘達も還暦を過ぎ、仕事をリタイヤした人、まだ現役で忙しくしている人様々ですが、昨年11月28日正午に大分空港に担任であられた村上淳子先生を含めて9名が集合しました。

すぐにマイクロバスで、日出町の「的山荘」に昼食に向かいます。ここは金鉱経営者が大正時代に建てた別荘で、晴れた日には四国も望める眺望豊かな場所にあります。名物は「城下カレー」ですが、シー



ズンを外れているので、今回は黒毛和牛網焼重を注文しました。

その後、杵築市城下町散策や酒蔵を訪れ、この日のメインイベントである、ふぐのフルコースを食べに大分市内の老舗「ふぐ八丁」へと移動します。ふぐ料理に加え、裏メニューとして、店主出身の熊本から取り寄せた特上の馬刺しも出して頂き堪能させていただきました。満腹になつて別府市に戻り、温泉でゆっくり疲れをとりました。

翌日は朝食後、別府地獄めぐりに出発です。海地獄・血の池地獄を廻り、明礬温泉の湯の花小屋を見学し、高速で宇佐神宮へ向かいました。参拝後、宇佐市内の「志おや」でうなぎの昼食を食べ、後発組の2人を空港で迎えて湯布院へ向かいました。

宿泊は「樹」という比較的新しい宿ですが、全館離れ形式で内湯と半露天風呂のある、リーズナブルな値段の宿です。3、4人ずつ分宿し、湯布院街並みの散策や夜は広間に集まり、昔話談義に花を咲かせました。

翌日朝食後、九重町の「九重夢吊り橋」に向かいました。日本一の吊り橋とあつて、高低差も177mあります。秋の紅葉が過ぎていたのが残念でしたが、その迫力には驚かされました。その後、国東半島で両子寺、富貴寺、磨崖仏などを見学し最後となる昼食は、古式手打ちそば「米屋」でそばコースを食べ、夕刻大分空港にて解散となりました。食べまくりが、話しまくりの2泊3日の旅行でしたが、懐かしい同級生との楽しい3日間でした。

(高木 厚)

## 増田先生の長寿を祝う

### 2回生・同期会開催

今年5月17日(日曜日)、銀座アスター三軒茶屋賓館で、2回生同期会が開催されました。

「還暦の会」を2007年に開催して以来、8年ぶりの同期会。

今回は、増田敬先生が5月に85歳になられるのを機に「増田敬先生の長寿を祝う会」として開催。男子5名、女子15名計20名が参加。3回生2名も、特別参加され、増田先生を中心に3つのテーブル

## 有賀三奈子先生の笑顔に励まされて

### 3回生・1年1組の会

広い世界への第一歩を一緒に歩き出した「1年1組」は、六〇年たった今でも思いやりある居心地のよい仲間です。

一年生のクラスを受け持つてくださつた有賀先生が、小学校の時だけでなく、卒業してから温かく見守つてくださつたことが、大きな力になっていると思ひます、一同心より感謝申しあげております。

今年になって、先生がお疲れのようだという噂が聞こえてきて、急いで会が企画され都合のつく14名が集まりました。それぞれボランティア、和服の仕立て、ダンス教室の経営、コーラス、お孫さん

に分かれ、大いに食べ、飲み、語り、各テーブルで楽しそうな顔が見られました。カラオケパーティ

ルームでの2次会にもほぼ全員が参加、大きな声で懐かしい歌を唄い楽しい一時を過ごし、今回は、「古希」を迎える3年後の再会を約して散会しました。

(柳 栄治郎)



のお世話、通訳、教員などの仕事や日々の苦労などの自己紹介に、有賀先生から、苦労することは幸福につながるのよ。1年生の時の素直な明るいところをそのまま持ち続けてうれしいというお話しをいただきました。今回は、先生に元気になっていただくとうれしく集まったのですが、また先生に励まされ、褒められて生徒の頃の幸せな気分に戻りました。来年の再会をお約束して先生をお見送りしました。

今年いらつしやれなかつた方も次回はぜひ、お目にかかりましよう。

(太田 鈴子)



5月23日 明治記念館で

# 百木史郎先生について

## 4 回生・傘寿を祝い

- ◎出身 秋田県
- ◎生年月日 昭和十年六月四日(満八十八歳)
- ◎在職期間 昭和三十三年〜昭和三十五年
- ◎担任歴 四回生の三年次 四年次
- ◎特技 チョーク投げ
- ◎その他 東京の水が体に合わず、故郷の秋田へ戻られました。その後も教師を続けられ、校長先生をなさって勇退されました。



銀座アスター  
三軒茶屋實館で

二年間という短い期間ご指導いただきましたが、皆さんからお兄さんのように慕われました。私たちが卒業した後も、修学旅行先でした日光へ一緒にいたり、百木先生のご案内で秋田大曲の花火大会へも行きました。良い思い出です。

今年五月十三日に、有賀先生を始め総勢十七名で、百木先生の傘寿のお祝いを楽しく和やかに行いました。

(粕谷 佐知子)

# 12年ぶりの集まり

## 7 回生 2 組

古い名簿を刷新するためにあちこち連絡を取っているうちに、クラス会をやるうということとなり、3月15日に7回生2組の卒業50周年記念クラス会を開催いたしました。12年ぶりの集まりでした。今回は3、4年の時に担任をして下さった斎藤光司先生をお迎えしました。私達にとってはたくさんの楽しい思い出のある先生です。クラス会の出欠はがきに、先生との思い出を書く欄を設けました。同じ思い出を共有しているはずなのに、忘れてしまった事、知らなかった事のなんと多かつたことでしょう！

出席者は、10名と少なかつたものの、近況報告、思い出話に花を咲かせ、2時間の予定が、気が付くと3時間半も経っていました。77歳になられた先生は、髪の色は違いましたが、52年前と変わらぬ笑顔と、懐かしい声で、私達を9歳、10歳の頃へと引き戻して下さいました。先生は歌が好きで、お上手でしたので、朝から良く歌を歌ったクラスでした。先生にとつては、私達が教え子第1号。保護者との対応に苦心なさつた事、人見先生に怒られたことなど当時は知る由も無かつた話も聞けて、若かつた両親のことも思い出したひと時でした。

32名の同級生のうち12名が連絡先不明です。7回生についての情報が有りませんでした是非教えていただきたいと思ひます。

(塩田 恵子)

# 顔を合わせる素敵さ

## 39 回生・三十路の同期会

「本当にやる？」私たち幹事がお互いの顔を見合わせて放つた最初の言葉でした。学年同窓会を行うのは今回で2回目。1回目は今から10年前、私たちが20歳のときでした。当時は私たち幹事も学生で比較的時間もあり、半ば遊び程度に始めたのがきまつていました。当時の参加者数は約70名。全体で100人程の中、それでもかなりの人数が集まつてくれた事を思い出します。

また10年後に集まろう。当時そんな言葉を口にして解散したのでした。



み切つたのは、色々な所から同窓会いつやるの？ という声が上がつてきたからでした。それらの言葉は私達を驚かせ、実行を躊躇しそうな私達を後押ししてくれました。

やるのなら全員参加を目標に。そんな思いがありました。

結果、同窓会当日は初等部の先生、途中で転校してしまつた人も含め約80名の人が集まり、2次会から参加した同窓生を含めると、10年前を超える結果となりました。惜しくも当日参加出来なかつた方には事前に近況を聴取し当日披露しました。さらには、海外に住んでいる同窓生はTV電話で参加してくれました。先生方からは今だから話せる当時のマル秘話や思い出話を頂戴し、皆が持ち寄つた思い出の品(文集やかかるたなど)を囲みながら、初等部時代を懐かしむ事も出来ました。会の最後には昭和つ子なら誰でも知っている目の体操と校歌斉唱(皆案外覚えていたものですね)。また南写真家さんの全面協力により、全員での集合写真も撮影出来ました。そんな贅沢で盛り沢山な2時間半の会はあつという間に過ぎていきました。

それから10年の歳月が経ち、私たちも30歳。世間一般に仕事や家庭で忙しい時期の中本当に集まつてくれるのか、10年前とは比べ物にならないプレッシャーを感じていました。それでも今回私達が実行に踏

全員参加の目標達成とはいかなかつたものの、企画してくれてありがとうと言ってもらえる度に本当に企画して良かったと感じました。

今回記念品として、初等部の制服(男女)をモチーフにしたキーホルダーを制作し参加者全員に配布しました。これには、小学校6年間という二度と戻らない貴重な時間を共有した仲間としての証の意味と、ふとした瞬間にこの(4ページ)

## 子供たちの笑顔が並ぶ

昭和祭 桜友会バザー報告

(桜友会バザー実行委員長  
3 回生・大石 惠津子)

3 回目を迎えた昭和祭での桜友会バザーは、初等部給食室、ランチルーム、そして幼稚部の新改築工事のため、開催場所が初等部3階西側のワゴンルームのみという狭いスペースでのイレギュラーな開催となりました。今回は、前年の反省をもとに、①当初から初等部父母会役員の方々とコミュニケーションを図り、協力体制のもと行う、②初等部父母会バザー開催方針を理解した上で、商品や売り方を考える、③企画の段階から、今年度の特徴な状況を考慮し、商品を会員から集めるのではなく、昨年のバザー売上残金でスペースに合った子供達向け商品を仕入れ販売、④そのため、商品の代わりに会員の皆様には、義援金を寄付していただくことといたしました。



限られた会場は、装飾担当の会員による満開の桜のポスターや富士山を見渡す東明学林から見た景色の様な里

山の絵、入口や窓にも紙花やテープの華やかでかわいらしい飾りが施され、心がウキウキする素敵な空間に変身しました。

販売商品の内容は、くじ引き、お菓子、光るおもちゃや笛等役に立つおもちゃ、ミニカー、消しゴム揃い等々、北海道キャラメル(14種類)、そして毎年ご参加いただいている桜友会会員姉妹による手作り手芸商品でした。

初日の開場時刻10時になると子供たちが殺到し、列に並んでもらったり、入場制限をしたり、用意した商品がどんどん売れ、かわいらしい笑顔に湧きかえる会場となりました。また、子供たちが、「おうゆukai!」「おうゆukai!」と言いつつながらも何度も来てくださる姿は、とても嬉しいものでした。

2 日間の売上合計金額は、22万800円、御寄付合計、12万7000円の総計が34万7800円、その中から商品、装飾品、文房具等の購入、その他支出合計18万7876円を差し引き、15万9924円を創立70周年に向けて積立金とすることができました。

終了後、小泉校長先生からも、「昔懐かしい駄菓子屋さんみたいな雰囲気、楽しかった。来年はもっと広いところを用意できるようにしますね」と言っていました。

2014年昭和祭桜友会バザーのためにご指導、ご協力くださいました初等部校長を初め先生方、初等部父母会、そして義援金をお送りくださいました恩師・桜友会会員の皆様から御礼申し上げます。

## 兄も息子も卒業生

3人そろってミカン狩りへ

(11回生・大野 あや子)

桜友会のみかん狩りは、毎年楽しみにしているイベントです。東明学林は、私が大学を卒業した年にできたので、1回目の桜友会のみかん狩りで、初めて東明学林を訪れました。

東明学林のみかん畑は、急な斜面にあり、しっかりと足を踏ん張らないと、みかんと一緒に転げ落ちそうになります。太陽をいっぱい浴びたみかんと、転げ落ちないように採るのは、普段平坦な所しか歩いていない私にとっては、至難の技です。当日は、初等部のみかん狩りと同じ日になり、息子が初等部在籍中に一緒に父母会活動をした保護者の方々とともに再会でき、みかんを採る楽しさと、再会の楽しさまであつという間に時間は過ぎ、気が付くとバケツいっぱいのみかん。遠くを見ると、白く雪を被った富士山がくっきりと青空に映っていました。

採ったみかん一箱は我が家、もう一箱は、島根に住む叔母に送っています。叔母も昭和の卒業生で、東明学林のみかんを食べる度に、遠くの地から昭和学園を懐かしく思い出しているそうです。そして、みかん狩りには8回生の兄も毎年参加しています。前回までは、息子はまだ初等部在校生でしたが、今回からは、8回生の兄、11回生の私、そして56回生の息子での参加。初等部で過ごした時代こそ違いますが、こうして一緒に母校の行事に参加し、母校を懐かしむことが出来ること、とてもうれしく思います。

これからも、みかん狩りを楽しみにしていきます。

(3階より) キーホルダーを見たとき、今回の会を思い出してもらえたらという気持ちを含めて制作しています。

SNSが発達し、多くの人と容易に連絡が取れる現代にあつて、直接顔を合わせ語り合う素敵さを、これからも大事にしていきたいと思えます。

最後に小泉校長先生を始め初等部の先生方、会場にご協力頂きました学園本部の皆様、南写真家様、同窓会の幹事メンバー、当日幹事の手伝いをしてくれた同級生の皆様にお礼を申し上げます。10年後も、また元気で。(浅井 睦正)

## 懐かしい教室で

56回生2組・卒業1年



今年3月22日(日)、卒業して丁度1年たった私たちは担任の岡崎真幸先生をお招きし、懐かしい6年2組の教室で同窓会を開きました。担当幹事さんが教室の飾り付けやおやつのお買い出しに行ってくれました。室内では小学生気分に戻りフルーツバスケットをしたり、たくさんおしゃべりをして過ごしました。校庭では久々にドッジボールをして汗をかけた、楽しい1日でした。(小園江 奏星)

## 2014年度総会・懇親会報告

2014年度の桜友会総会・懇親会は昨年9月21日、昭和女子大学本部館3階大会議室で開催された。

総会では、2013年活動報告・会計報告、2014年度活動計画・予算が執行部提案通り拍手で承認された。

懇親会では、昭和の歴史を知るシリーズ第2弾として、増田敬先生、大坪良穂先生に在職中の思い出を語っていただいた(6〜9面に詳報)。

ビンゴゲームでは、1等から3等までを初等部を卒業したばかりの56回生が独占した。3人に初めて桜友会総会に参加した感想などを寄稿してもらいました。

### 今も私は昭和つ子

56回生 黒川 未来



2014年春、私は初等部を卒業し、外部の中学に進学した。4年生までは、外部受験を考えたこともなかった。しかし5年生に進級し進路について考え始め、私学フェアに足を運び、外部受験に挑戦してみようと思うようになった。しかし、両親は外部受験を猛反対。5年生の11月、妹が初等部への入試に合格。両親は妹の為に中高部への進学を望んだ。妹のそばにいてあげたい。私だっけ一緒にいたい。昭和学園も大好き。でも、私が外部に挑戦したいという気持ちは強くなるばかりだった。

ようやく両親の許可があり、5年生の冬から受験対策を始めた。

結果、学校説明会すら行ったことのない第三志望への入学が決まった。あきらめきれず、現実を受け入れることが出来なかった。完全に自信を失くした。

そんな私を見て、両親は無理しなくていいから時間をかけて現実を受け入れようと言ってくれた。学校へ行くと、6年2組のクラスメイトは、入試の結果を聞きもせず、何事もなかったかのように、普通に接してくれた。その時は、何も考えられなくて、まわりが見えてなかったけど、少し経って、みんなの優しさに気付いた。すごく嬉しかった。今なら言える「あの時、ありがとう。」と。

卒業して半年、同窓会で久々に同級生と再会した。ようやく、進学した学校名を自分の口から話せるようになった。

外部中学へ進んだことで、これまでずっと恵まれていたことがわかった。憧れの先生や真剣になってくれる先生に教わり、大好きなお友達や悩み事を相談できる友達、勉強やスポーツを競い合える友達など、数えきれない程の出会いがあり、毎日が楽しく、充実していた。まさに輝いていた。できることならもう一度、初等部に入りたいくらいだ。

初等部では勉強はもちろん、色々な体験をし様々なことを学んだ。目当てをさしてすすむ、真心を尽くす、富士登山マラソンを走るなど、体と心が強くなった。それが昭和つ子なのだと思う。卒業した今、その基本の考え方や心の使い方は私の中にある。これから中学、高校、大学そして社会人、と進んでいく。昭

和つ子として学んだことを心の幹として、いつも胸を張って前を向いていられるように頑張っていこうと思う。

### 外部進学 of 友人と再会

56回生 井上 蒼葉



昨年9月21日には、久しぶりに外部に行つた友だちと会う事が出来ました。毎日ずっと一緒にいた友だちも外部にいつてしまい、なかなか会えませんでした。毎日一緒にいた友だちが外部に行くとき、とても悲しかったです。

中高部に入学した私は、少し心細かったです。もともと同じクラスだった友だちは私を含めて4人でした。外部の人だらけでなかなかなじみず、6年生の時の友だちが懐かしくなりました。そんな時、初等部の同窓会を行うと聞いて、とてもうれしかったです。

同窓会には外部に行つてしまった友だち、中高部でクラスが変わつてなかなか会えなかった友達と会うことができました。とてもうれしかったですし、幸せな気持ちになりました。

1組だった私とクラスメイト、担任の先生との思い出は、いつも楽しいことばかりでした。空き時間がきたらすぐに屋上、校庭に行つてドッジボールをしていました。その生活が習慣づいてしまいい、今でも少し違和感を感じるくらいです。同窓会は短い時間だったけれど、とても楽しかったし、たくさん話せて最高の時間でした。2年間しか一緒にいな

かったけれど、色々な思い出がたくさんあったと実感しました。みんなそれぞれ離れているけれど、これからもずっと友だちで、元1組の一員であることを忘れずに生活していこうと思います。

### 緊張した「ひかり」伴奏

56回生 宮岡 彩子



同窓生として初めて出席する校友会に、私もとても緊張していました。私は、桜友会での「校歌」や「ひかり」の伴奏をすることになっていたので上手く弾けるかどうか不安でした。

「校歌」や「ひかりひかり」は、卒業生の方々の思い出がたくさんつまっていて、とても大切な曲だと思います。先生方や先輩方が沢山いらっしやる前で、大切な曲を伴奏させていただくことができ、とてもありがたく感じました。

「ひかりひかり」は、初めて聞いた曲でした。この曲は昔、校歌として歌われていて、卒業生の方々がとても好きな歌と聞きました。「ひかりひかり」の歌詞には、「ひかりのようにあかるい子ども、ひかりのようにげんきな子ども、ひかりのようにたのしい子ども」と歌うところがあります。昭和学園の目標に「世の光となる」とあるように世の光となるために、あかるく、げんきに、たくたく生活しなければならぬということ、表しているのかなと思いました。このことを胸にきざみ、明るく生活することの大切さをあらためて感じました。

# 増田先生・大坪先生 初等部を語る

司会（太田鈴子） 初等部ができたばかりのころに教えてくださった増田先生と、とても長く初等部で教えてくださった大坪先生にいらしていただきました。

はじめに増田敬先生にお願いいたします。先生は1957-1961年まで昭和で教えていらつしやいました。理科の先生ですが、第2回生の6年生の時のクラス担任をしていらつしやいました。先生、当時の思い出がいろいろおありと思いますが。

## ◎西期的な理科教育を目指す

増田敬先生 私は大学を卒業するとき、東京都の高等学校の教諭になろうと思つたのですが落ちてしまいました。もう一年大学で勉強しようとしているとき、たまたま人見先生とYMC A時代仲の良かった早川先生という化学の先生から初等部に行つてみないかといわれました。わたし自身、子供が好きだったので家が目黒なのでバス一本で来られるの、たいへん近いと思ひ、お受けしました。

理科を担当することになりましたが、理科室らしい理科室ではなかったんです。ピーカーや顕微鏡を買つてもらいました。置くところもないので、窓際に自分で棚を作りました。顕微鏡は大学で使つていたもの並みのものを入れることができました。

なにしろ「本物を見せろ」「関心を持

たせる」というのが人見（楠郎）先生の指示でしたから、そういう意図でやりました。そしたら教科書が邪魔なんですね。独自の教科書をつくり、10年ぐらいかけて西期的な理科の授業をやつてやろうという野心がありました。ところが一週間

何やるのかという週案を出させられるんです。人見先生は授業の計画を報告するときに教科書を見ているので、「いつも



増田先生（左）と大坪先生

同じところでちつとも進まないじゃないか」といわれたこともありすが、次第に分かつていただけたと思ひます。

今日来ているその当時の卒業生から「カエルの解剖やったわね」とかいろいろ言われましたが、見様見真似で、今ではできないようなこともやりましたが生徒はよくやつてくれました。理科の教師としての第一歩でいろいろな体験を積むことができました。足りないところもありましたが、生徒はよくカバーしてくれました。感謝しています。

司会 先生は理科の草分けとして理科室を整備されたということで、ご苦労されたことを今知りました。もう一つ昭和で続いている大きなこととして夏季寮があります。先生も那古にいらしたということですが、その当時の遠泳などの思い出はございますか。

## ◎みんな頑張った遠泳

増田先生 児童と24時間密着して一緒に生活するのが臨海学園。来た年に1回生の5年生について那古船形ではじめてに経験しました。昼間の仲良し同士が、夜も仲良し同士で寝たいという。ところが生徒の夜中の動きをみるとすごいんです。あちこちのたうちまわつて、ぐるぐる回つて一晩たつと元の場所に戻つている。大きなものと小さなものが一緒に寝ていると、大きな児童がブルドーザーが人をひきつづぶしていくような感じで、本当の親友は昼間だけだなあなんて思いました。

2回生が5年生になると、初めて中高部と遠泳をやるから準備しておくと人見先生に言われました。初等部のプールは小さくて役に立たないので、大学の25メートルプールを借りて練習しました。その時、泳ぐ能力はあるが、距離を延ばすかどうかでも泳げない生徒がいました。なんとか頑張つてみんなと一緒に遠泳できるようになれば、将来のためにいいなと思つていました。僕のクラスには体力的にずば抜けた男の子がいたので、その子と僕と二人の間に挟んで泳がせました。遅れると叱咤激励しながら、何度かやっていると二百メートル、

三百メートル、四百メートルと泳げるようになっていったんです。そして遠泳に参加しました。最後はみんなフラフラになりながらもゴールしたことは、みんなにとつていい思い出になったと思うし、僕自身にとつてもいい経験でした。

司会 今のお話で、若い方々にはわかりにくいところがあると思ひます。当時は望秀海浜学寮がないので、普通の旅館に泊つたんですね。畳のお部屋に布団をぎつしり敷いて寝ましたので、大きな生徒がぐるぐる回りながら小さな子供の上下を転がるのを先生がご覧になったということだったんですね。

それと、先生の時代に給食が始まつたどうかはありますが……。

## ◎思いがけず調理手伝い

増田先生 入つて二年目くらいから給食室を作ることと、私は理科の専任で担任を持つておらずフリーなので準備委員を仰せつかり、あちこちの学校へ行つて調べました。給食室のスペースが限られているのでその中で何を作ろうかと考えていました。人見先生も当時としては立派なものを作つてくださいました。それとともに、ここの大学卒業生で大変優秀な栄養士を二人採用されました。中には大変おもしろかったので、「うちに帰つてお母さんに作つてもらおうんだ」と栄養士さんにわざわざレシビを書いてもらった子もいたようです。

私は給食についていまだに思ひ出すことがあります。たまたま調理師さんがけがをして手が足りないと、栄養士さんが職員室に飛び込んできました。人見先生

に「おまえ手伝いに行けど」と言われました。サンマのカレー焼きでしたか。いわゆるままに2時間夢中でやりました。さんまとかカレー粉のにおいが鼻についちやつて、いまだにカレー粉つけて焼いたサンマだけは口にできないんです。

**司会** ではここで、大坪良穂先生のお話を代わっていただこうかと思ひます。先生は増田先生よりだいたいあと1972年から2008年まで、とても長く初等部で教えていただきました。色々なお仕事もされて東京都の教育功労賞を受賞されています。初等部で受賞された先生は人見楠郎先生と巳波瑠美先生、そして大坪先生の3人でいらつしやるということですよ。

それでは大坪先生から初等部にいらしたばかりの1970年代についてお話ししていただきたいと思ひます。

### ◎子供との対話に苦勞

**大坪良穂先生** 私は大学を卒業してすぐ昭和に来たんじゃなかつたかと思われてるようですが、この学校へ来る前に8年間高等学校で勤めていたんです。たまたま家の家内の実家で幼稚園を経営してまして、それで小学校のことも知っていた方がいんじゃないかということもあつて、ある先生に人見先生を紹介されました。こちらの方へ来たわけですよ。

(昭和に来て) 4年間、5年生6年生を巳波先生と組みました。巳波先生は教えてくれないんです。巳波先生、実は仕事は早いんだけどもゆつくりやる。そしてギリギリのところまで終わるんですね。ギリギリのところを見て仕事を必死

になつて覚えました。

初等部に来て、一番困つたのは子供との対話でした。大塚先生という教頭先生が私の授業を見て来て最初に言ったことは何かというと、「あなた、授業やつちゃだめだよ」……こういうわかれたんですよ。

「え、何をやるんだらう？」と思つたのですが、「子供が勉強するよう仕向けてやればいいんだ。教えるのではなく、ちゃんとやるように仕向けて行くのだよ、」といわれて。それで1年間、5年生に対していろんな話をしながら、実践して努力しました。

高学年ばかり担任して、20年後だと思ふんですが、1年生を持った時、困りましたね。とにかく1年生と6年生のギャップというのはすごいんです。わずか5年、でも中1と高3の差よりも大きい。1年生と6年生というのは親子くらいの差です。私なんか全然話が合わないんです。1年生にわかることは、和語つていのですが、それで話さなければならぬ。いわゆる漢語使っちゃいけないんです。だから、和語を一生懸命覚えてわかる話をするようにしなければならぬということを感じました。

**司会** いまの校舎に引越すをする時に大坪先生がいろいろご活躍なさつたと聞いているのですが……

### ◎風呂敷で運んだ2万冊

**大坪先生** 今の校舎ができたのは昭和52年だと思ひますが、この初等部の校舎を作るときは、先生方みんなこれには設計から何から全部考えようつていう話に

なりまして。その時たまたま私が視聴覚のことをやつていたものから、視聴覚教室を作るときにあなたがそれをやれ、ということになつて、あの視聴覚教室、私が一応設計したんです。いまでも愛着を持っています。

新校舎への引越しのときに、一番苦労したのは、図書室の本です。その当時2万冊あつた本をどうやって引越すかということ、みんなで考えたんです。その時に巳波先生が「みんな風呂敷を持つてきなさい」とおっしゃつた。そして1年生は5冊くらい、6年生は10冊から15冊くらい、風呂敷で運んだんです。これは本が傷まない方法だということ、子供たちが皆で2万冊の本を運びました。自分で風呂敷を持って、図書を運んだことを覚えてる人もいると思ひます。

**司会** 大変良いお話を伺いました。本に昭和ならではのお話で、いろいろな事があったんだろうと思ひますが、大坪先生は昭和の教育の一番の特色は、何だと思ひますか。

### ◎人生の土台を作る場

**大坪先生** 人見校長先生は「何より、小学校は一生生きていく土台を作るところなんだ」というお話をしていました。だから初等部は、人生の基礎を作るところだ、つていうことなんです。卒業する時、公立の小学校は修了証書をくれるんですが、でも初等部は卒業証書をくれるはずですよ。これは、「君たちは一生生きていくことに必要なものを全部身に付けたんです、だから卒業証書を渡す

んですよ」ということですよ。

初等部の新校舎ができた後すぐに今の人見記念講堂ができたのですが、土台を作るのに土を掘つたんです。ものすごく深いんですよ。十何メートル掘つた。地下室が必要だから掘つたんじゃない、土台が必要だからです。それを校長先生は「見に行け」というので、初等部みんなで見に行つたんです。「人間が生活するにはこれだけの土台が必要なんだ、君たちはその土台を作っているんだぞ」ということで、各クラスみんなで行つたんです。

あなた方は多分、集合写真を撮る時の並び方から、講堂に入る時の入り方から、また修学旅行あるいは夏季の海浜学校などに行く時の並び方など、いろんなことを指導されました。あなた方が生きていく上で、この時何をやらなければならないかということを考えることを教えたんです。卒業生はそういうものを全部身に付けて卒業したから、立派になつていっています。以前、この席で、がんを治すのにDNAの細胞を研究している卒業生の慶應の先生が話をしてくれました。そういう立派な人がいっぱいいるんです。それはどういうことかということ、人間が生きていく上で大事なことは何かということ、自分がやらなければいけないこと、今ここであなたは何をしなくちゃいけないかということ、を考へるよ、そして生きていくなさいよということなんです。

**司会** 増田先生、今、人見先生のエピソードをうかがいましたけれど、増田先生が若いころの人見先生の思い出は何がありますか？

## ◎素顔の人見先生

増田先生 若い時の人見先生、多分40代前半ころの歳だったと思います。何しろ作った初等部を東京一の、全国一の初等部・小学校にしたいという意欲満々であらゆるアイディアを精力的にこなそうとなさっていったんですね。私たちはその先生の教育理念に押しまわられて、時には言い合い、時には喜んでという形でもって努力しました。人見先生は若かったので、やっぱり肩ひじ張った面が我々の前でも多々見受けられたんですね。だけれども、一皮むくと人見先生ってすごく優しい人間だなということ、幾多の機会を通じて知ることができたんです。

日光の林間学校で、一緒にお風呂に入ることがありました。わたくしが人見先生の背中を流していると、前の鏡に先生の顔が映るわけなんです。それをしげしげと見て「俺もこのところの骨が少しとれてたらいい男で、もっともてんだけだね」と、いわゆる男らしい一面をのぞかせました。

また、那古船形へいった時、最後の日遠泳が終わった後でした。そのお開きで宴会をしてくださいました。慰労会ですね。外房の荒い波にもまれたうまいサザエを用意したから食べるとのことでした。ビールぐらいつくだろうと思っていたんですけど、オレンジジュースで乾杯。それで終わってから大体同じ世代の連中が僕を含めて3人、街に出て簡単にビール飲んで帰ってきた。そしたら人見先生、宿舎の入り口に座って帰って来るのを待っているんですよ。そして呼び止

められて、一番年長者だった僕だけ残された。散々お説教された後に、「おれが酒を飲まない理由は、お前たちに酒を飲まずと俺の悪口しか言わないからだ。それが気に食わないから飲まないんだ」。常につっぱてる先生は、陰でいろいろ言われることは先生自身分かっていたと思うんです。



しかし僕が一番印象深かったのは、ある時、箱根で小学校の校長クラスが集

まって初等理科教育の研究会に連れていってくれた時です。終わってからの会食でうまそうなマグロの刺身が出たんです。「お前食わないんなら少しよこせ」と言われたら、どう言って拒否しようと思っただんですが、先生が逆にですね、「お前これ食べてくれ」というんです。おかしいなと思つたら、あとでこういうんです。「僕は、マグロをたべると自家中毒を起こす体質なんだ。これ食うとおれ大変なことになっちゃうから」って。そういう言う風に、普段、職員室なんかで接する先生にない面を感じて、人見先生というのめやっぱ人間で、「できるなら、持解いてお前たちと付き合いたいんだ」って思っていたに違いないという気がします。

司会 人見先生の別の一面がうかがえたとおもいます。ここで、二人の先生に何か伺いたいことがある方はいらつしやいませんか？

大石恵津子さん 3回生の大石です。先生方が一番印象に残っている生徒がい

ますか？ ワルでも良い子でもいいんです。

## ◎思い出に残る教え子は

司会 大石さん、ありがとうございます。先生方がいいかでしょう？ 一番印象に残っている生徒の顔を思い出しますか？

増田先生 思い出すけど、個々の名前挙げたんじゃまずいだらうと思います。が、一人、3回生で大変面白い男の子がいました。みんなから可愛がられていた、特に女子から可愛がられていた男の子です。昔あった校舎の前に池があつて冬に7〜8センチの氷が張っていたんです。そしたらある女の子に、お前なら軽いから歩けるだろうとそそのかさされた。意気揚々と歩いて、静かに歩けばいいものを途中走つちゃって、どぼんと落つこちましてね。上がってこないんです。落つこちたというのでびっくりして飛んで行って、あわてて引つ張り上げて職員室に連れて行き、家に電話して、親が着替えを持って来るまで保健室で保護したなんていう思い出があります。

司会 ありがとうございます。私は3回生ですので、よく覚えています。いまでもみんなが集まると、まずその話になります。大坪先生、何か思い出の生徒さんいらつしやいますか？

大坪 印象に残っているというのと、全部色んな意味で印象に残っているんですが、だからこれだということはないんです。私自身もそういう偏見というのを、偏見という感覚で見ると、すべを見渡すという感覚で見ると、すべですね。だからたとえば家の話もしないし、

子どもがどこどこなんて……36人子どもがいるんだから、俺の子供なんだからと話しをごまかしちゃう。そういう性格なんです——ということ、ごめんさい。

## ◎初等部への期待

司会 ありがとうございます。最後に何か今後の初等部に期待するものなどございますか？

増田先生 私、初等部に参りまして、これから歌うそうですが、「ひかりひかり」という歌が、あの当時の校歌だったんですね。それを聴きました。初等部の建学の理念が「世の光となれ」ということだったんですね。光というものは我々にとってなくちゃならない存在です。我々が世の光たれということは、何も目立つような存在で光るといってはいけません。光というものはなく常に輝き、そして何か心暗い友達がいたらその人にあつたならばその人が光によって心癒されるなんてことがあるだろうし。そういうような光ということとともに、「地の塩になれ」ということも人見先生はおっしゃったと思うんですけど、これは塩というのは目立たないけれども、本当になくってはならない、人の世の中に必要な存在に育ってほしいという理念だと思つたんですね。最近特にテレビ見ますと目立ちたがり屋の若いものがテレビにたくさん出ます。ああいう一瞬の線香花火のように開いて、散つてしまふような存在ではなくて、目立たなくともいい、だけどもくちやならないという存在を目指す学校として今後も教育していったらいいと期待します。

司会 ありがとうございます。大坪

先生お願いします。

**大坪先生** 初等部に望むなんて、おこがましいことは言えないんですが。入学試験の時に、学校長の（保護者との）集団面接というのがあったんですね。その時に校長が何を言うかというところ、「小学校は人生の土台作りだけれど、公立小学校はプラスアルファであります」という宣言をするんですね。もう一つは、「この学校は、入学試験をやるけれども、私たちが試験をされているんです、選ぶのは親ですよ」という言い方をします。また、この学校は3つの目標があります。

その3つの目標の一番目は、目あてを指して進む人なんだけれども、本当は体を丈夫にする人が最初なんです。だけれども世間を観ると、からだを丈夫にする人、目あてを指して進む人、まごころを尽くす人って言ったから世間じゃなんだよこれっていわれるから、目あてを指して進む人からまごころを尽くす、そしてからだを丈夫にするのと3番目に置いているんです。だけれど、本当は体を丈夫にする人をいけばん最初に置きたいんだ、という話をしていました。



学校長が、本当に世間体を考えてやったのはこの三つの目標の順番だけなのです。

あとは、世間体なんてなんにも考えないで、この学校はどうあるべきかを、今の子供たちをどういう風に育てなければいけないかということ、第一に考えて作り上げた学校なんだということですね。それを初等部は実践しているんです。

だから、これからも、そういう風にして進んでいくと思います。私も、それを応援したいと思います。

私も、ここを辞めて5年、毎年ここに来ます。ここは江口先生が必死になって同窓会を作り上げたんです。感謝します。それまでなかったのです。あなた方感謝しながら毎年出てきなさいよ。なにかあるはずですよ。先生と話ができる。私立は先生が長い間います。だからくれば何か話してくれます。それが自分の人生にプラスになるはずですよ。いらつしゃいね。

**司会** どうもありがとうございます。同窓会のことでも応援していただきまして、ありがとうございます。そろそろお時間となりました。

最後に、先生方の人生のご予定をお伺いしておしまいにさせていただきますと思います。

**増田先生** 私、公立中学を定年退職して25年になります。退職後、嘱託制度で東山中学というところで5年間生物と地学を教えていました。たまたまその時に、校舎内に草がいつばい生えていたので、暇なものですからそれを抜いて、耕したら畑になっちゃった。そこを65歳で終わって家に帰っていたら電話がかかってきて、そのあと部活でもって園芸クラブを作りたいから指導してくれと言われまして、今日までその19年間指導を続けました。三月でやめるつもりです。

僕はたまたま結婚が遅く、長男も結婚が遅かったものですから、初孫がいま満2歳で可愛い盛りなんです。自分は共働きだったから子供は私の母親に頼んで保育園で過ごさせました。子供にはほとん

ど家庭では教育しなかった面があるという反省があるものですから、もう少し話せるようになったら、孫に幼児理科教育的なことを少ししたいなという欲があるんですけれども、そんなことでこれから老後を歩みたいと思っています。

**司会** ありがとうございます。大坪先生はなにかご予定はございますか？

**大坪先生** すごい残酷な質問ですけどね……私、いろんな国に行っているんですけど。外国では、定年になったらあとは自分の人生なんだ、自分のやりたいことだけを十分にやるというふうです。日本では「働くことが生きがいだ」という言い方をします。だから遊んでいると罪みたいな、そんな感じですよ。でも私は外国がぶれじゃなくて、やっぱり人生は一回終わったんだ、十分楽しんで十分遊んで一生を過ごしたいな、そのためには死ぬまで歩いていたいと思ってる。ばたつと、歩けなくなったら死にたい、こういう風に人生を過ごしていきたいな、っていう風に思っています。

**司会** 増田先生、大坪先生、大変興味深いお話をたくさんかがうことができました。それでは、とても残念なんですけれども、ここで開きにさせていただきます。増田先生、大坪先生本当に良いお話をありがとうございます。

「人見家の墓」の改葬について  
松陰神社にございました。人見家の墓は、一親等のみしか受け継ぐことができないという永代供養規定により、そのままでは将来残せない事情となりました。



神社の宮司様と私共親族との話し合いの結果、学園の恩師の墓／同窓の墓のある墓地に移動させていただきます。御承知のとおり、誠に勝手ではございますが、ご理解を賜います。

お願いし、理事長をはじめ理事会でご了承頂きましたので、平成26年10月に「校祖之墓」として昭和学園の建学に関わりました6名の遺骨を移動致しました。今後このお墓に埋葬される親族はおりません。

また、石碑は以前松陰神社に墓所を定めた際に、恩師同窓の墓の墓石と同じく四国から運んだ記念の石を、そのまま加工彫刻して頂きました。改葬をご承諾下さいました理事長を始め理事会の皆様、改めて御礼申し上げます。

これからは、学園の皆様と並んでお祀りして頂きますようにお願い申し上げます。

(元理事長 人見楷子)

## 運動会に桜友会ブース 90人が来訪

(18回生・小蘭江園香)

5月30日(土)「昭和っ子の運動会」が開催されました。五月晴れ、とても暑い日差しの中、元気な子供たちの声援がグラウンドに響きました。

桜友会では昨年に引き続きブースを開きました。今年は、こども園建設中の事もあって、場所は初等部のシンボル「なかよし像」の前でした。

1回生から今春卒業の57回生(現在中学1年生)まで90名の同窓生にお越しいただき、冷たいお茶の配布をしました。

今回は11月の昭和祭で、くつろげる桜友会ブースを開設の予定です。皆さまのお越しをお待ちしております。



## 学年幹事会で 実りある話し合い

2015年5月10日の日曜日、午前11時から学園本部館中会議室で第6回目の幹事会を開催しました。1回生から50回生まで、初参加を含め様々な回生の学年幹事22名に参加頂きました。

役員改選や総会・運動会のブースにつ

いて、また昭和祭のバザーや同窓会室の運営、文化行事等、様々な議事を話し合い実りの多い幹事会を過ごすことが出来ました。沢山の提案を今後の活動に活かし、より良い桜友会を目指したいと思えます。



## 会費納入のお願い

毎年、2000円の会費納入をお願いしております。いただいた会費は、桜友会の運営に使わせていただきます。

郵便振替用紙を同封しておりますのでご利用ください(手数料のご負担をお願いしております)。

お名前、住所、Eメールアドレスのほか会員番号もご記入ください(会員番号はお送りした封筒宛名の下にあるEの後に続く9桁の数字です)。

事務作業簡略化のため、すでに今年度分を収めている方にも、振替用紙を同封しておりますので、ご了承ください。以前、複数年分を納入いただいた方で、何年度分まで納めているか不明な場合には、電子メールないしファクシミリで事務局までお問い合わせください。

また、事務の繁雑さを避けるために、過ぎた年の会費は徴収しないことになっております。

## ●2014年度(平成26年度)会計報告

2014年4月1日～2015年3月31日

収入	金額	支出	金額
前年度繰越金	7,246,406		
入会金(57回生)	768,000	会報	587,952
年会費	766,000	幹事会	16,626
寄付	106,000	通信費	221,146
銀行利息/利子(普通預金)	716	事務費	15,846
銀行利子(定期定期)	419	会議費	49,053
事業費(みかん狩り)	2,800	ホームページ/WEBサイト	147,960
総会/懇親会参加費	198,000	総会/懇親会	433,230
恩師同窓会お祝い	10,000	事業費(みかん狩り)	1,166
その他雑収入	10,000	運動会	16,221
バザー関係(別会計)	8,000	昭和祭(桜友会昭和祭の部屋)	1,766
		会費納入用紙印字サービス	3,502
		会計報告用銀行証明書代	514
		バザー関係(別会計)	5,000
計	1,869,935		1,499,982
来年度繰越金			7,616,359
合計	9,116,341		9,116,341

本会計のほかに、60周年募金残高、3回のバザー売上金、周年行事への寄付などあわせて約40万円の積立金があります。

## ●2015年度(平成27年度)予算

2015年4月1日～2016年3月31日

収入の部	金額	支出の部	金額
入会金	872,000	会報(作成/発送)	700,000
会費/寄付	900,000	幹事会	30,000
懇親会参加費	250,000	通信費	200,000
雑収入(利息/利子その他)	1,500	事務費/印刷代(会費納入用紙印字代含む)	100,000
		会議費	40,000
		ホームページ/WEBサイト	250,000
		総会/懇親会	450,000
		事業費	60,000
		予備費	150,000
来年度予算収入合計(A)	2,023,500	来年度予算支出合計(C)	1,980,000
前年度繰越金	7,616,359		
収入合計(B)	9,639,859		
来年度予算収支差額(A-C)			43,500
来年度(2016年度)繰越収支差額(B-C)			7,659,859

## ●銀行残高

2015年3月31日現在

銀行名	種類	金額
ゆうちょ銀行	普通	3,904,700
ゆうちょ銀行	定期定期	2,000,419
みずほ銀行	普通	1,706,240
振替口座		5,000
合計		7,616,359
次期繰越金		7,616,359

## ●2014年度(平成26年度)決算報告

会計期間: 2014年4月1日～2015年3月31日

科目	予算	決算
収入の部		
入会金	850,000	768,000
年会費/寄付	900,000	872,000
懇親会参加費	300,000	198,000
雑収入(利息/利子)	1,500	1,135
雑収入(懇親会)		10,000
雑収入(その他)		10,000
事業費(みかん狩り)		2,800
バザー関係		8,000
計(A)	2,051,500	1,869,935
支出の部		
会議費	60,000	49,053
事務費/印刷代	100,000	15,846
通信費	50,000	221,146
会報(作成/発送)	700,000	587,952
幹事会	30,000	16,626
総会/懇親会	700,000	433,230
昭和祭	20,000	1,766
振込用紙印字サービス	4,100	3,502
事業費	30,000	1,166
運動会	30,000	16,221
予備費	200,000	
会計報告書関係		514
ホームページ/WEBサイト		147,960
バザー関係		5,000
計(B)	1,924,100	1,499,982
当期収支差額(A-B=C)	127,400	369,953
前年度繰越金(D)		7,246,406
来年度繰越金(C+D)		7,616,359